

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営理念

情報サービス事業を通じて、顧客の繁栄・社会の発展に貢献する。

営業収益

9,000百万円

経常利益

900百万円

配当

10円/年

ROIC目標値

7.0%以上

② 中長期の経営戦略

1. データビジネスへの展開推進

情報処理アウトソーシング基盤を保ちながら、データをより広いビジネス領域で活用。

3. 新規サービス創出投資

次世代サービス創出、M&A投資、既存事業の収益性改善をキャピタルアロケーション優先順位として3年間で35億円規模投資。

2. UCARO®プラットフォーム育成

ユーザが様々なサービスへアクセスできるプラットフォームとして育成し、豊かな人生実現をサポート。

4. 若年層接点の事業化

2024年10月にNINJAPAN株式会社を子会社化。『Abuild®就活』と『キャリアポート®』連携で『CABUILD』サービス開始。

③ 対処すべき課題

① 少子化対応と新規顧客開拓

- ・ 18歳人口減少に備えた顧客層・顧客接点の拡大が急務
- ・ 新規サービス創出を推進

② 利益率と資産効率の改善

- ・ PBRが1倍を下回る状況を改善
- ・ ROIC目標値7.0%を下回る状況を改善
- ・ グループシナジー最大化と重複コスト削減

③ 企業価値向上と認知度向上

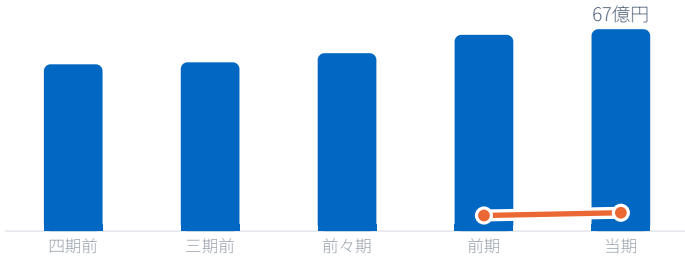
- ・ IR活動強化とメディア露出による認知度向上
- ・ 人的資本経営推進によるヒトと組織の好循環

面接で使えるポイント

- ・ 情報処理アウトソーシング基盤から、データビジネスへ展開を強く推進している点で事業変革に挑戦中。
- ・ 2024年10月のNINJAPAN株式会社子会社化など、M&Aを通じた成長投資で3年間35億円規模の投資枠を設定。
- ・ UCARO®プラットフォームを軸に、若年層接点からCABUILDサービスまで、データに物語を加える社会的価値を追求。

証券コード 3839

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

要するに
情報処理アウトソーシングサービスを主軸とする情
報通信企業

主力事業・セグメント

・ 情報・通信業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

・ 営業利益率9.1%の安定した収益性

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

暗記する数字3つ

連結売上高
67億円営業利益率
9.1%財務健康度
60点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 49.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
624万円

情報・通信業内 360位/592社

平均年齢
41.3歳

情報・通信業内 138位/593社

平均勤続
12.1年

情報・通信業内 80位/593社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)ODKソリューションズ【3839】：決算情報

